



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(☎ 894-3737)

いろいろな病について考える

2月16日、交野市社会福祉協議会の主催で研修会がゆうゆうセンターで開催されました。最近、ボランティアセンターへ心の病を持った人からの依頼が増えている中で、当事者の方々の声に耳を傾けながら関わり方の大切さを学ぶ機会となりました。

当たり前の生活を支えるために

最初に「心の病について」社会福祉法人豊年福祉会の障がい者相談支援センター明星の杉原導子さんの基調講演がありました。

心の病気と主な症状、精神障がいのとらえ方、障がいのある人への支援、基本的な対応方法などを解説していた頂きました。障がい者は様々な困難を抱えて生活をしており、困っているのは本人であることを忘れずに、本人のことをよく知って、本人に寄り添う。そして「本人が社会の中で生き生きとその人らしい生活を送る」という当たり前の生活を支えていくことが重要だと結ばれました。



【写真】(上)杉原導子さん・(下)研修会場50人が参加

胸に響く当事者たちの声

市内在住の三人の当事者が出席され、それぞれが普段の暮らしや、体験を通しての思いを語られました。その一つひとつの心が心に響き、改めて支援の思いを強くしました。

また、東大阪市の障害者生活支援センター「ひびき」の石田理事から障がい者支援事業として取り組んでおられる福祉有償運送事業、枚方市のボランティアグループ「あかり」の活動事例の紹介等がありました。



障がい者との交流「ほほえみ」

古切手で葉づくり

「ほほえみ」ではうれしいことに、最近2人のボランティアと1人の利用者さんが新しい仲間になってくれました。

活動内容も、エコキャップの整理とともに、リサイクル切手を利用した葉づくりも楽しんでいきます。



活動日は毎週木曜日 10時30分～15時30分、ボランティアセンター1階活動室です。興味のある方は一度覗いてみてください。お待ちしております。



ボランティアグループ近況あれこれ

2月10日、日頃は活字を相手の地味な文字追い作業ですが、今年は趣向を代えての新年交歓会です。まずは健康体操で身体をほぐし、なぞなぞで脳を柔らかく、そしてお手玉、ペットボトルを使ったボウリング、ピンゴゲームと、多彩なお遊びの後には会員同士によるプレゼント交換。お昼は「ぱる」さんのお弁当で舌鼓、会員の親睦を深め、楽しいひと時を過ごしました。午後は点訳作業を開始です。

健康体操・ボウリング・プレゼント交換

点訳「虹の会」新年交歓会



障がいのある人が、障がいのない人と同じように、能力や適性に応じた雇用の場につき、自立した生活が送れるよう、改正障害者雇用促進法が昨年4月から施行されています。改正内容は、次の3点で①障がい者に対する差別的禁止、②合理的配慮の提供義務、③苦情処理・紛争解決援助などです。この法律に沿った施策がどのように進められているのか、私たちボランティアも見守っていく必要性があります。

障がいのある人が、障がいのない人と暮らしているの、共生社会実現のため、法の整備や制度の構築だけでなく、障がい者がごく普通に暮らし、地域の一員として共に生活できるように、就業による自立を社会全体で取り組んでいくことがより一層求められています。

焦点

改正障害者雇用促進法施行一年

(3)

今年も「地域で障がいのある仲間たちにひとときの楽しみを」そんな気持ちを持って福祉施設・事業所や支援学校の人たちが一年間かけて準備を進めてきたコンサート(春コン)に河北7市から15団体、交野市からは「かたの福祉会くらじワークセンター」のみなさんが2曲演奏



2/11 門真市民文化会館 ルミエールホールで開催

27回目を迎えた「通称春コン」は河北7市の教育委員会、社会福祉協議会をはじめ各種団体・民間企業・ボランティアの後援で開催されています。

また、春コンを盛り上げようとNPO法人「コモンビート」(ミュージカルプロジェクト)、パナソニックエコソリューションズ吹奏楽団の出演があり、イベントに花を添えていました。



くらじワークセンターのみなさんが2曲演奏
アメリカンパトロール/365日の紙飛行機

ボランティア インタビュー52



吉田 朋子さん
「玉手箱 / かざぐるま」

吉田さんの一言

ボランティアは楽しくないよ!!

ボランティアを始めたきっかけは…

はつきりした動機や気づきなどはなく、気がつけば30年近くになります。元々、母の病院通いや、脳梗塞を患った父の機能訓練の付き添いで車いすを押したり、また聴覚障がいがある娘の言語訓練で発語できるまで付き添ったりで、不自由さのある方の手伝いは自然と身についたものかも知れません。

いろいろなボランティア体験に感謝

古い話になりますが、私がボランティアを始めた頃は、今のように細かくグループ分けがなくて「施設

の風呂掃除をどなたか…」など、その他いろんな呼びかけに応えることが活動の中心でした。その後、立ち上がった機能訓練「ひまわり」、デイサービス「いこい」等、幾つかのグループに所属し、どの活動も楽しんでやってきました。

ご結婚は 趣味は?

お見合いです。幼稚園に勤めていた頃の父兄の紹介でした。理解ある夫や家族のおかげで活動や趣味(手描き友禅、ポトルフラワー、コーラス)などに存分に時間を使っています。

玉手箱では南京玉すだれや手品、銭太鼓、ハーモニカを楽しんでいます。

「こころの準備体操ワークショップ ～アイスブレイクDE交流～」

人と人との緊張をほぐしたり、話し合うきっかけをつくるための、ちょっとしたゲームや運動「アイスブレイク」を用いて、実践しながら、参加者同士の交流を通して楽しい会話を体験します。

日時 平成29年3月28日(火)
11時～12時
場所 交野市ボランティアセンター
2階活動室
参加対象 ボランティア・市民活動団
体のリーダーやサブリーダー
申込み 3月21日(火)までに、
交野市ボランティアセンターに
FAXもしくは電話・メールで申込み
電話/FAX 072-894-3737
メール katabora@nike.eonet.ne.jp
参加費 無料

認知症セミナー

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、事例を踏まえた交野市における認知症施策について社会福祉協議会主催のセミナーです。ぜひご参加ください。

日時 3月22日(水)10時～12時
場所 ゆうゆうセンター4階
多目的ホール
内容 1.認知症の基礎講座
(4大認知症)
2.事例報告
地域・医療・介護・権利擁護のチームアプローチ
3.交野市における認知症施策について
参加費 無料
申込み 交野市社会福祉協議会
Tel 072-895-1185
Fax 072-895-1192

リーダー会議

(2月28日)

☆連絡会より

・この一年の活動の振り返り
・市民交流フェスタについて
各リーダーから、今後の取り組み方(イベントの狙いの明確化、周知の方法、開催時期と頻度、会場の選定)や、実行委員会のあり方など数多くの意見が出されました。それらの意見を踏まえて新たな方向性を役員会で検討することになりました。

☆センターより

・平成29年度活動依頼書について
・平成29年度グループリーダー
・サブリーダー選出依頼について(3月28日まで)
・来年度のグループ助成金について
・4月以降のフリースペースの利用について
・ボランティアセンターの戸締まり等について
・ボランティア・市民活動団体リーダー研修について
(上段の記事参照)



ひな祭り

3月3日桃の節句、雛人形を飾っているご家庭も多いと思います。先日のことですが、テレビで雛人形についての報道があり、最近では雛人形にも現代的なアートが反映して、女雛のヘアースタイルや衣裳が現代風にアレンジされたり、付け睫毛が施されたり、男雛もイケメン風の顔、姿に変身です。これには驚きを禁じ得ません。昔からの言い伝えや、慣わしが失われて行くように思えてなりません。例えば、「雛人形をしまうのが遅れると、婚期が遅れる」と言われますが、これは片付けができないようでは良いお嫁さんになれないよ。という雛の意味を込めた言い伝えがあります。

(竹とんぼ)

